

会 議 録

会議の名称	白岡町自治基本条例町民推進会議（第5回）
開 催 日	平成24年3月22日（木）
開催時間	午後7時00分 から 午後8時30分 まで
開催場所	白岡町役場3階 庁議室
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	<p>会 長 齋藤 信治 副会長 神田 芳晃</p> <p>委 員 内山 欣春 委 員 大八木健夫 委 員 柴山 利幸</p> <p>委 員 清水 律子 委 員 本田 尚子 委 員 宮崎 博</p> <p>委 員 矢島 静江 委 員 山口 孝雄 委 員 渡部 勲</p> <p style="text-align: center;">11 人</p>
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	委 員 柳 祐作
説明員の職・氏名	<p>秘書広聴課</p> <p>課 長 高澤 利光 課長補佐 河野 彰</p> <p>主 査 岩楯 浩志 主 査 金子 敬相</p>
事務局職員の職・氏 名	<p>秘書広聴課</p> <p>課 長 高澤 利光 課長補佐 河野 彰</p> <p>主 査 岩楯 浩志 主 査 金子 敬相</p>
その他会議出席者の 職・氏名	なし
会議次第	別添のとおり
資料等	第2回ワークショップの結果・行政側の課題（資料番号1）、第2回ワークショップの結果・町民側の課題（資料番号2）、第4回会議の会議録（資料番号3）、第6回会議の開催通知

発 言 者	会議経過（議事の要旨） 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
高澤課長	1 開会
	開会を宣する。
齋藤会長	2 あいさつ
	齋藤会長から、あいさつがなされる。
	3 議題
	（議事の進行である議長については、当会議設置要綱第6条第2項により、会長がその議長を務める。）
齋藤会長	(1) 本日のワークショップの進め方について
	本日のワークショップの進め方について、事務局から説明を求める。
岩楯主査	資料を基に、ワークショップの進め方について説明した。
齋藤会長	説明が終わりました。質問がある方はいらっしゃるか。
	（質疑なし）
	(2) ワークショップの実施（検討課題「行政側の課題の解決策について」）
	A、Bの2グループに分かれてワークショップを行った。
	各委員が事前に挙げた「行政側の課題に対する解決策」をグループで話し
	合った。
	(3) ワークショップの検討結果発表
齋藤会長	ワークショップの検討結果について発表を求める。
	Aグループ発表者 柴山委員
	Bグループ発表者 清水委員
齋藤会長	各グループの発表がなされたが、質問がある方はいらっしゃるか。

	<p>(質疑なし)</p> <p>(4) その他 なし</p>
齋藤会長	<p>4 その他</p> <p>(1) 次回の事前検討課題シートの作成について</p> <p>(2) 事務連絡（第4回会議の会議録の確認等について）</p> <p>次回の事前検討課題シートの作成等について、事務局から説明を求める。</p>
岩楯主査	<p>次回の会議は、4月17日（火）午後7時から開催する。次回のテーマは住民参画の方法②町民側の課題に対する解決策である。別紙1月24日のワークショップのまとめを参考にして、町民側の課題解決策を事前に検討していただきたい。</p> <p>会議録の確認は、3月28日（水）までに確認をお願いする。</p> <p>また、町の組織改正により、当会議の事務局は4月から市民生活部市民協働課にて担当する。</p>
金子主査	<p>来年度から協働のモデル事業補助金制度を創設する予定である。詳細は未定であるが、補助金の事業採択・選考に当たり、当会議委員から選考委員をお願いしたいと考えている。</p>
高澤課長	<p>補足するが、24年度の事業として、町民提案型の協働事業を予算化したものである。現在内容を詰めているところで、まずは、審査のご協力をお願いしたいと考えたものである。次回の会議には皆さんに内容をお示ししたい。</p>
齋藤会長	<p>説明が終わりました。質問がある方はいらっしゃるか。</p>
A委員	<p>以前、事前課題シートを早めに送付するようお願いしたが、早々に送付していただきありがたい。</p>

B委員	<p>協働事業に対する補助はよい制度と思うが、補助金の選考に当たり、町民からも委員を選出するのであれば、選考委員の公募をすべきではないか。つい先程まで計画から町民が参画することや、町が実施している意見募集の段階では参画できないと議論していたのに違和感がある。</p>
高澤課長	<p>他の市町村では事業の募集などを前年度に実施し、事業実行に十分な期間を設定している。町では、来年度から新規事業として実施するため、事業の募集期間や事業の着手日を考えると、選考委員の公募を実施することで事業期間がかなり短くなってしまふ恐れがある。</p> <p>今までの住民協働の取り組み、自治基本条例の検討やこの参画条例の検討などは机上で行ってきたが、今回は具体的な動きとして、皆さんから事業の提案していただきたいと考えたものである。</p> <p>今回は、事業を通じた協働のまちづくりの芽を出すことを考えたものある。また、モデル事業のモデルには試行の意味もある。今回は、試行として実施させていただき、委員ご指摘のように、皆さんのご意見を伺いながら、25年度以降はよりよい制度としていくよう努力したい。</p>
C委員	<p>先程の補助金の説明は、この委員の中で選考委員をお願いしたいということか、また、B委員さんのどのような事業の提案を募集するのかという質問に対してはどうか。</p>
高澤課長	<p>募集するのは、町との協働事業で、具体的な事業は町民から提案していただく、つまり事業の企画や実施を町民が行う。そして、事業の選考には、住民の視点という意味で委員さんに加わっていただきたいと考えている。また、行政との協働であるから、行政の視点も必要であるため、職員も参加する。</p>
B委員	<p>先程の議論の中で、各種審議会等委員の選出には、団体推薦ではなく一般公募でという意見もあった。既に意見が反映されていない感じがする。</p>
D委員	<p>事務局は、町民に対してよかろうと思って実施しようと考えたのではない</p>

神田副会長	<p>か。ケースワークとして様々な意見もあるが、実際、仕掛けを実施してみて、結果や問題点などを私たちに知らせる意図もあると私は感じた。</p> <p>今日のワークショップは、委員間の議論が活発でよいものであった。今後、提案の検討の中で、議論の場を予定より増やす必要もあるかもしれない。その際は、皆さんと相談させていただきたい。</p>
齋藤会長	<p>6 閉会</p> <p>閉会を宣する。</p>